

1.5mテント

区分	作業手順	作業要領	安全対策、注意事項
1	事前に現場調査を行う	A 積降ろし場所／搬入出経路 B 作業条件 C 大型車が乗り入れ可能である事 D レッカー車の作業スペースの確保 E 養生方法(クイ/ウエイト)	B 時間制約等 D 重機なしでは建たない E ターンバックル/ワイヤー使用の事
2	設営撤去/手配	A 25tレッカー×1台(条件による) B ウェイトの場合、各脚に1000Kg置く事 *1張の場合、4つ必要 (現場によって追加が必要な場合有) C 横幕/トユの有無 連棟の場合トユ/集中トユ必要 D 1張で4t平車/2張り10t車必要 本体重量は1張kg程度 E 作業は慣れた者で10名程度 F フォークが有ると便利 G 現場にラック等が置いて置く事が可能か	A 風、天候、場所など 吊道具を忘れないように C 9尺以上の脚立か ローリングタワーが必要 E 1張当たり 約5～6時間目安 G 無理なら持ち帰り便を立てる事
3	組立 ①部材くばり	A 4面分の部材を、帯が巻き付けられるよう 下に筋交いを置いて、ややアーチ状 になるように配る *ラチスに付いている、横幕を付ける パイプが上になるように置く事  B 真中の曲がっている梁にボルトプレート を取り付ける  C 4面分の梁はこの時点でインパクトで 本締めする事 	A 部材が重いのでレッカーで吊って 配る  B ボルトは下から通す事 B ボルトプレートは上向きにする事

区分	作業手順	作業要領	安全対策、注意事項
	①部材くばり続き	D 真中のロケットもこの時点で長い方の羽のみを左右に取り付ける  *本締めしない	* この作業より、ボルトは仮締めにする 
	②部材組立	A まず、L字に外枠を組む事 レッカーで1面を起こし、コーナー部材を入れる 倒れないように数人で支え帯を外す  B もう1面を吊ってL字に連結させる ボルトを通して斜めに筋交いを付ける  C 繰り返して4方完成させる  D ロケットに長ボルトを刺し帯を通し レッカーで吊り起こす ①のDで2方に羽をつけたので残り2方を取り付ける 	

区分	作業手順	作業要領	安全対策、注意事項
	②部材組立続き	E 羽が付けられたら筋交いを自在のプレートに取り付ける  F 筋交いが付いたらロケットを上げて短い方の羽×4をそれぞれ取り付ける  *ボルトプレートは下向きにする事 G ②のFで下向きにしたプレートとロケットの下部のプレートに長い筋交いを取りつける事  H 長筋交いが付けられたら更にレッカーでゆっくり回転させながら上げる 羽の端のボルト穴と①のBで取り付けたボルトプレートの穴を合わせボルトを入れる×4  I 外枠の梁と十字の梁の自在プレートに筋交いを付ける 	H シノで穴を固定するとボルトが入り易い

区分	作業手順	作業要領	安全対策、注意事項
	②部材組立続き ③天幕準備 *②のJの時点で 同時に行う ④テントを上げる	J ここで全てのボルトを本締めする K 芯の下部の耳にシャックル/ 白ワイヤー/ターンバックルで 角の耳とをつなぎ引っ張る  A ブルーシートを敷いて天幕を広げる事 芯を幕のてっぺんから突っ込んで シャックル×8で止める  B 傘をボルトで取り付ける 本締めする事  A 帯2本で吊る事 *一番下の斜めのパイプから巻く事  B 骨の頭上までレッカーで持ってくる	J 締め忘れの無いよう何度もチェック *この時点で天幕準備と同時に行う A 安全ロープを必ず付ける事 B 2人で部材の上に登り、紐が絡まない ように割り振る、またロケットに芯が入るよ 誘導する

区分	作業手順	作業要領	安全対策、注意事項
	テントを上げる続き	C 芯がロケットに入るよう天幕を均等に引っ張る *天幕が下に付かないようにする事  D 芯がロケットに完全に入ったら天幕の角を結んで天幕の紐を梁の下のパイプに括りつけるように編んでいく *横幕/トコが有れば付けておく E 4面編めれば天幕をレッカーで吊り上げた たるみが無くなるまで張る事 ボルトを通して固定する F そのままテントを上げ脚を入れる 脚は2段階になっている 1段ずつ上げること 横幕が有ればテントを降ろす前に横幕部材を付ける G 位置を決めて降ろす レッカーからテントを離して養生 *上に登る時は安全帯着用し 安全ロープ使用の事 頂上の傘にかバーを掛け編み込む 以上、1張完成	D 中心から外側に向かって編む D 横幕はたくし上げておく事 E レッカーの力で2tまで吊る位が目安 F ボルトは本締めする F 上げ過ぎず入る所から入れる F 降ろした後、大ハンマーで直接叩いて横幕部材を取り付けないこと